

事務事業名	公共下水道事業受益者負担金賦課・徴収事務			担当	上下水道部 下水道課 業務係		
政策名	0	自然と潤いがある安全快適なまちづくり		増補版施策名			
施策名	2	下水道事業の推進		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	地方自治法・下水道法・真岡市公共下水道受益者負担に関する条例・真岡市公共下水道受益者負担に関する条例施行規則				<input type="checkbox"/> 単年度繰越（開始年度 昭和58年度～）		
予算科目	9.公共下水道事業特別会計	1.公共下水道	1.総務管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	生活環境の整備及び公共用水域の水質保全を目的とした公共下水道を計画的に建設するため、下水道が整備されることによって利益を受ける土地所有者等から、建設費の一部として負担していただくもの。単位負担金額は処理区域事業計画に基づき、真岡処理区域1平方メートル当たり300円、二宮処理区域1平方メートル当たり360円 令和2年4月1日より地方公営企業法を適用する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 対象となる区域内の土地所有者等（受益者）に対し受益者負担金を賦課徴収した。また、未納者に対し戸別訪問等により納入指導を実施した。  2年度計画 前年と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	説明会開催回数	回	1	0	1	1	1
	イ	納入指導戸数（未納者）	戸	12	10	10	14	10
	ウ エ オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 下水道建設工事区域内の土地所有者等（受益者）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	賦課対象件数（新規）	件	29	37	40	26	37
	イ ウ エ オ							
	③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 下水道建設費の確保	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア		徴収額	千円	27,253	12,706	12,135	3,228	2,527
イ		収納率	%	95.9	94.2	95.6	86.6	90.0
ウ エ オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 快適で衛生的な生活環境で暮してもらおう。公共用水域の水質汚濁防止。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	公共下水道普及率	%	57.9	58.4	59.2	59.6	60.6
	イ	公共下水道の水洗化率	%	93.7	94.3	95.6	96.0	96.1
	ウ	市全体の水洗化率（公共+農集+浄化槽）	%	76.6	77.6	79.2	80.0	81.6
エ	河川の水質が良いと感じている市民の割合	%	68.3	67.2	68.1	70.3	70.3	
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	7,354	4,818	5,293	2,997	3,204
	事業費計(A)		千円	7,354	4,818	5,293	2,997	3,204
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	940	940	940	940	940
		人件費計(B)	千円	3,904	3,901	3,919	3,800	3,800
	トータルコスト(A)+(B)		千円	11,258	8,719	9,212	6,797	7,004

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和58年3月に130haの供用を開始したことにあわせ、建設事業費の一部を受益者に負担していただくため、都市計画法第75条（受益者負担金）の規定及び地方自治法第224条第1項（分担金）の規定により、条例を制定し賦課徴収事務を開始する。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	当初は130haであった供用開始面積も年々区域を拡大している。 平成31年度末の供用開始面積は、1,256.5haとなっている。 令和2年4月1日より、経営の計画的な強化と財政状況を的確に把握するため、地方公営企業法を適用することとなった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	下水道が整備されることによって利益を受ける土地所有者等から、建設費の一部として負担するものとして、関係者から理解いただいている。 収納対策会議において、未納者の対策に力を入れるようにとの意見がある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 下水道の整備により、住環境が改善され、利便性・快適性が向上し、その利益を受ける人が、事業費の一部を負担する事で、下水道事業の推進を図る。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の快適な生活基盤の整備を図るために、下水道の整備は欠かすことができない事業であり、行政が取り組むことは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 賦課対象は、下水道の整備によって利益を受ける人(受益者)であり、建設費に当てるため負担は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 平成31年度の受益者負担金徴収率は86.6%であり、より収納率の向上に努める。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 受益者の公平な負担が損なわれることになり、また、財源不足を生じて事業の推進が困難になる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 徴収率の低下を招く恐れがある。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 負担金計算事務等については民間に委託しており、効率的運営に努めている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 法に基づいて受益者負担金の賦課徴収行っているため、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 受益者負担金制度の理解を得て、未納者への納付相談や戸別訪問を強化し徴収率の向上を図る。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							